

『北朝鮮を知るための51章』勉強会
「北朝鮮の美術」

2006年5月20日（土）
報告者：喜多恵美子

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 「美術」言語で語りにくい北朝鮮絵画 | |
| 2. 北朝鮮の美術にはどのようなものがあるか | |
| 3. 韓国における研究 | |
| 4. 北朝鮮における朝鮮画 | |
| 5. 北朝鮮の美学 | ※彩色画・文人画のあつかい |
| 6. 建国直後の美術 | |
| 7. 「美術」とはなにか | |

1. 「美術」言語で語りにくい北朝鮮絵画

日本において北朝鮮美術が語られるとき

政治的な要素が強いことや金日成や金正日に対する強烈な個人崇拝に対して感じる違和感や滑稽さが強調される。

北朝鮮の「美術品」は他の国（日本など）からは「美術」的価値はないものとされることが多い。

理由としては

- ・ 似たような図像が反復して使用される。
- ・ 作家の個性よりも党の意志が優先される。
→「オリジナリティ」がない

しかし、北朝鮮においてこうした「美術」作品は価値あるものとされている。

つまり、この場合、北朝鮮でいう「美術」と日本でいう「美術」のあいだに間隙が生じていることになる。

→なぜそのようなことが生じるのか？

「美術」にはオーソライズ（選別と価値付与）の過程がついてくる。

そもそもわたしたちが「美術」と言っているものの正体はなんなのか。

日本における「美術」受容

新概念である fine art に「美術」という翻訳語をあてた。

「美術」導入初期にはなにを「美術品」とするかという点において
ゆらぎが見られる

→美術という概念は時代と社会要請のなかで次第に
整えられてきたものである。

2. 北朝鮮で美術品としてあげられるもの

=作品類型=		=絵画の主題=	
ジャンル	内訳	金日成・金正日 賞揚型	国民や労働者を指導する姿 神童イメージ 人知れず努力する姿 国際性 家族史
絵画	朝鮮画	先軍絵画	抗日戦線 軍備を怠らない軍人
	油彩画		旧支配階級（日）
	水彩画	支配階級による暴虐 悲惨な生活	
	版画	社会主義国家の	発展する都市 豊かな農村 イノセントな美しいイメージ
	宝石画		雄大な自然
	万年画		
	刺繍画	プロパガンダ	
	ポスター		
	挿絵		
彫刻			
工芸	陶磁器		
	金属工芸		
	木工芸		
舞台美術			
書芸			
(구호나무 : 口號木)			

※絵画についてみると

① 朝鮮画の優位性が強調されている。

→朝鮮画＝伝統画？

韓国におけるいわゆる韓国画（東洋画）
とは傾向を異にする。

- ② 工芸性のつよいものが多い。
- ③ 水彩画が多く制作されている。
- ④ 複製芸術（ポスター・版画・挿絵）も美術品のなかに入れている。
- ⑤ 抽象絵画がない。

※西洋近代の美学言語とはことなる基準をもとうとしている。

3. 韓国における北朝鮮美術研究

- イ・グヨル『北朝鮮美術 50 年』（이구열 『북한미술 50년』 돌베개, 2001 年）
- ユン・ボンモ『平壤美術紀行』（윤범모 『평양미술기행』 옛오늘, 2000 年）
- ユ・ホンジュン『北の地、北の人々』（유홍준 『북녘 땅 북녘 사람들』 중앙 M&B, 1998 年）
- パク・ケリ「金正日主義美術論と北朝鮮美術の変化」『美術史論壇』第 16/17 号 2003 年
 (박계리 「김정일주의 미술론과 북한미술의 변화」 『미술사논단』 제 16/17 호 2003 年)

ウェブサイト：「朴桂利の北朝鮮美術鑑賞」（박계리의 북한미술감상）

http://www.culturenews.net/sub.asp?title_up_code=605

※ 日本の美術史学では無視される左翼美術→意外に韓国では関心が高い。

→北朝鮮絵画を既存の美術言語で語るのは意義深いとは思いますが、限界がある。「美術」の捉え方における彼我の差を浮き彫りにすることが先決。

4. 北朝鮮の美学

- ①朝鮮画の賞揚
- ②西洋美術追従にたいする批判—独自の美学を意識
- ③支配階級の美術（＝文人画）批判→反動としての彩色画奨励

